

平成28年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

平成28年5月26日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



稚貝の付着は順調。ムラサキガイの幼生が増えました。

<調査結果の概要>

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.2℃で、透明度は10mでした。
- ラーバの出現は続いています。大型ラーバの数は減少傾向となっています。なお、ムラサキガイのラーバ数が350個/m³と多くなっています。
- 試験採苗器への稚貝付着数は横這いですが、付着が継続しています。
- 他の調査定点でも、稚貝の付着は順調です。

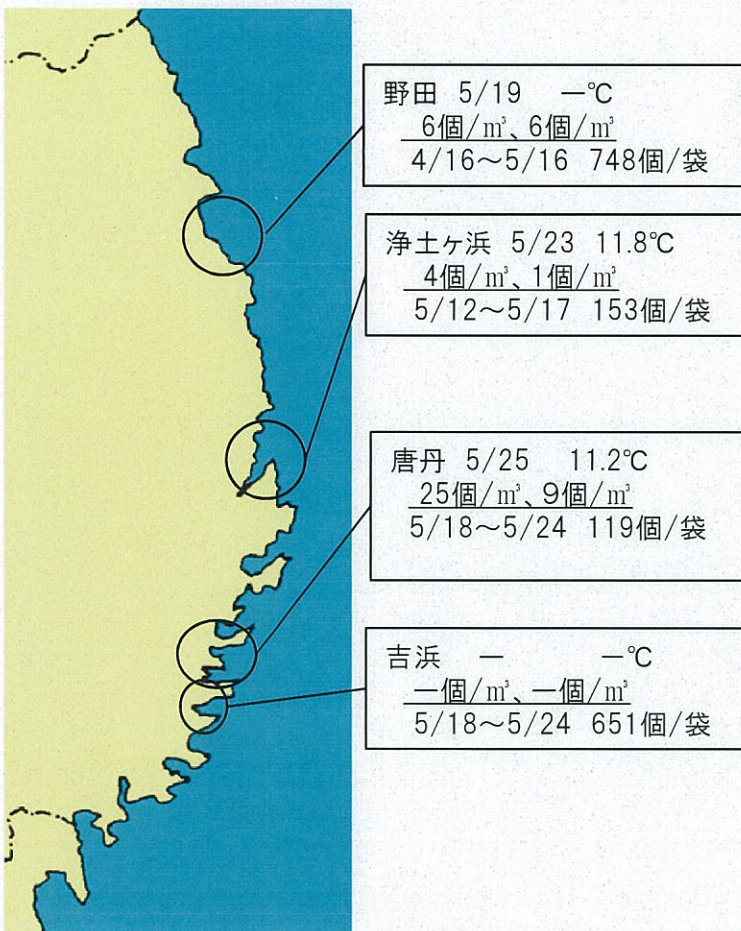


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

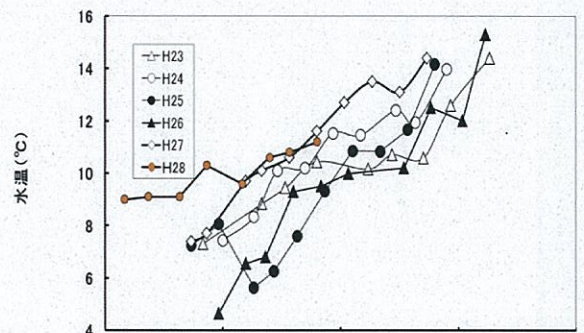


図1 唐丹湾における水深10m層の水温

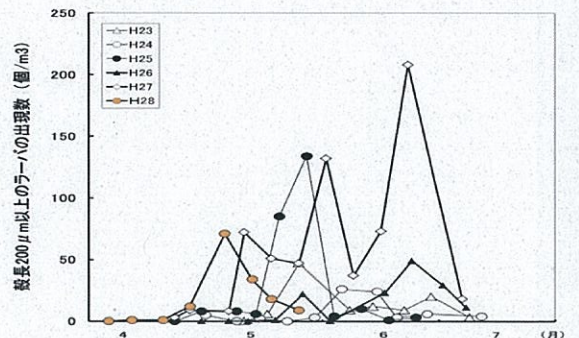


図2 殻長200μm以上の幼生出現数

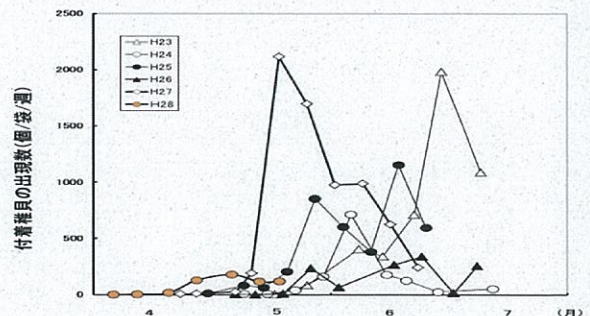


図3 付着稚貝の出現数

次報は、6月2日に発行する予定です。